香川県学校支援チーム（D-EST かがわ）の設置について

１　設置の目的

本県では、南海トラフ地震発生時に甚大な被害が生じることが想定されているほか、近年全国各地で豪雨災害が頻発化・激甚化しており、災害がいつどこで発生してもおかしくない状況にあるが、本県は大規模災害による被災経験が比較的少なく、学校再開や被災した児童生徒等の心のケアに関するノウハウを持つ教職員が少ないことが課題となっている。

このことから、被災地支援や学校支援チーム設置の意義等について教職員の意識を醸成の上、被災地支援に関する教職員の知見等を養成し、大規模災害発生時には、被災自治体の要請に応じ、被災地のニーズに合わせた様々な支援を積極的に行うための体制を構築する。

２　チームの概要

○　令和８年 11 月１日　設立

○　チーム員総数：15 名（令和８年 10 月９日現在）
対象者：県内公立学校教職員及び香川県教育委員会事務局職員

○　主な取組

【大規模災害発生時】

・学校再開に向けた支援　　・教職員や児童等への心のケア
・被災した教職員の相談・支援　・学校が避難所となった場合の協力
・学校給食の早期再開と食生活の支援
・被災地の学校や教育委員会等との連携調整

【平時】

・学校防災や心のケアの推進　・地域の防災活動への協力
・各種研修会等における講師

３　研修の実施

７月から 10 月にかけて、以下の研修を実施。

・令和８年度 災害時の対応訓練研修講座（教育センター主催）（R8.7.29）
・被災地派遣職員活動報告会（R8.8.20）
・学校支援チームハンドブック解説動画及び心のケア研修動画視聴（R8.7.23～10.31）

４　今後の方針

「D-EST かがわ」の一層の体制強化が、学校の防災対応力の向上にもつながることから、「D-EST かがわ」のチーム員（特に教員）の更なる増員や研修の充実、必要な資器材の整備などにも努め、「D-EST かがわ」の体制強化に継続的に取り組む。